



46

甲南太鼓保存会  
なかしまくにひろ  
中嶋邦博さん(甲南町葛木)

## 夢は生涯太鼓奏者

ふるさとへの誇りとまちづくりへの意欲を和太鼓で表現、甲南地域を中心に活動される甲南太鼓保存会。地域行事をはじめ、様々なイベント等で熱く華麗なパチさばきを披露されています。

そんな和太鼓集団に加入して15年、現在中心人物として活躍される中嶋邦博さん。

「和太鼓は自己表現の場であり、自分の実力を発揮する場です。練習を重ね、本番に向かうときの高揚感が最高です。」と話中嶋さんは、イベントへの出演、週2回の練習に熱心に取り組んでおられます。

小学1年生の時、上級生に誘われたのがきっかけで太鼓を始め、すぐに和太鼓の魅力に惹かれたそうですが、転機となったのは、中学3年生の時に出場した曲打ちコンクールという全国規模の大会。新人賞を受賞し、努力を重ねうまく認められるという一連の過程の面白さに気付き、さらにうまくなりたいという気持ちが生まれてきたそうです。

「今は完全に太鼓中心の生活です。何があっても太鼓の活動には参加します。僕から太鼓をとると何も残りません。」という中嶋さん。甲南太鼓への思いをお聞きすると、「とにかく見ていただく人に楽しんでもらいたいと思います。そのためには自分たちが楽しめる太鼓でありたいと思います。そんな思いをもって生涯続けて生きたいです。」と力強い言葉。

現在大学2年生で今年成人を迎える中嶋さん。これからは大人としての自覚を持って、成人をいい機会に新しい自分をめざしたいとのことですが、太鼓への熱い思いは変わりません。



甲南太鼓を熱演する中嶋さん



## しめ縄作りに挑戦

甲南ふれあいの館なつかしの体験教室



縄の編み方を習う参加者

お正月飾りに欠かせないしめ縄、今では購入することが多くなっていますが、昔は各家庭でごく一般的に作られていました。そんな昔ながらのしめ縄づくりを学ぶ教室が12月12日、甲南ふれあいの館で行われました。この日は民具友の会の方の指導により、参加者が一連の作業を学びました。参加した人たちは、ワラを編むなど慣れない作業に悪戦苦闘しながらも熱心に取り組み、オリジナルしめ縄が出来上がりました。出来上がったしめ縄は、お正月の各ご家庭で飾られていることでしょう。

## 子どもも大人もあたたまるコンサート

おひざでだっこのコンサート

赤ちゃんがおうちの人のひざの上に乗る、親子で音楽を楽しむ「おひざでだっこコンサート」が12月14日、鹿深ホールで行われました。この日は、甲賀市出身のシンガーソングライター Yokkoさんが来演、ピアノ弾き語りにより優しい歌声が届けられました。来場の皆さんは、クリスマスソングと一緒に口ずさんだりしながら音楽を満喫、中には、Yokkoさんの優しい歌を子守唄に、すやすやと眠る赤ちゃんも見られ、楽しく温かいコンサートとなりました。



▲歌声が響き渡る会場



## 元気なまちかど

### 本場のゴスペル音楽が会場包む

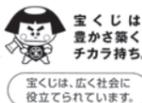
ニューヨークを本拠地とし、世界各地で活躍するアーティスト、グローリー・ゴスペル・シンガーズによるコンサート「クリスマス★ゴスペル2010」が12月5日、あいこうか市民ホールで開催されました。

この日はクリスマスソングなどアンコールを含め22曲を披露されたので、普段なかなか見る機会のない本場ニューヨークのゴスペルの、迫力あるステージに会場は大盛り上がりでした。

宝くじ文化公演クリスマス★ゴスペル2010



▲ステージに上がり、シンガーと一緒に歌う皆さん



宝くじは豊かさ強くチカラ持ち。

宝くじは、広く社会に役立てられています。

## 世界の文化が集い、笑顔あふれる

国際交流フェスタ

世界各国の文化が集う祭典、国際交流フェスタが12月12日、碧水ホールで行われました。「楽しかったらエエやん！笑ったらエエやん！めっちゃええやん！」をテーマに開催された同フェスタ、今年は世界の音楽やダンスなど、みんなが楽しめる楽しいステージがたくさん繰り広げられました。フィナーレでは、ホール内に立てられたやぐらの周りで江州音頭が行われるなど、この日出会った人は、国言葉文化の壁を越え楽しむ、交流を深めることができました。また、ロビーや屋外では各国の飲食ブースが設けられ、手軽に世界の食べ物を楽しめること、行列ができるほどの盛況ぶりでした。



▲みんなが一体となって楽しむダンス

## 冬のまち、おまつりでにぎわう

しがらき冬まつり



▲幻想的な光のトンネル

信楽のまちの冬の風物詩、しがらき冬まつりが12月18日、信楽支所横の特設会場で行われました。夏の縁日がそのまま登場するこのまつり、今年も華やかなイルミネーションの中に、金魚すくいやかき氷の縁日が出店、ステージや花火も行われ、多くの人が温かい信楽の冬を満喫しました。また今年も、光のトンネルが設けられ、青と白の鮮やかなLEDと、淡い光を放つ信楽透器で彩られた空間を来場者が行き交い、幻想的な雰囲気を楽しみました。